

全国学生プロジェクト「日本全国タスキリレー in 静岡」

～ 静岡の想い 届け 福島へ ～

3月2日・3日 タスキリレーが県内47キロ 走破する！！

全国学生プロジェクト（JASP）は、今後日本を背負う学生達が全国から集まり、震災以降停滞した気運を打破し、福島県をはじめとする被災地、ひいては日本の復興への、若者の無限の可能性を発信することを目的として、福島大学の学生有志を発起人として2011年10月に設立された団体です。

昨年始めて行われた「日本全国タスキリレー」は、福島の風評被害や人々から忘れ去られる「風化」を防ぐ目的で、ただ走るのではなく全国47都道府県にちなんで各県で47kmづつ走行し、タスキをつなげます。今回は静岡県の参加で、全国27都道府県の学生達が参加して行われます。

JASP静岡の代表を務める山田一央（富士常葉大学 環境防災学部4年）が中心となり、東部（富士常葉大学）・中部（常葉学園大学）・西部（浜松大学）の協力で企画・運営を行いました。今回のタスキは大分県から送られて、静岡県でつなぎ、新潟県へと送ることになっています。

3月2日（土）午前中、西部地区 浜松大学で10km。

静岡県のスタートは西部の浜松大学からフルーツパークまでの往復コースで行われました。浜松大学では、細井一君（健康プロデュース学部心身マネジメント学科3年）が中心となりボランティアサークル「サンダーバード」や運動部に声掛けをしてランナーを集めました。

午前9時に浜松大学のスタート地点において中村浜松大学学長の挨拶を戴き、代表の山田君の挨拶などのセレモニーを行い、スタートをきりました。



▲写真は第一走者 高尾友靖君

▲ 中村浜松大学学長より激励の挨拶を戴く
右側は JASP 静岡代表の山田一央君



▲スタートの激励に駆けつけた浜松大学の教職員の皆さん（中央の元日本代表でサッカー一部新監督である澤登さんにも応援をいただきました）



▲浜松大学では多くの応援の中 10名の学生が 10kmを走り タスキは静岡へ

3月2日（土）午後、清水港から三保の松原 常葉学園大学で10km

午後14時に静岡市清水区の清水ドリームプラザをスタートし、富士山がきれいに見える三保の松原までの10キロのコースでタスキリレーを行いました。

中部地区は常葉学園大学の山崎洋平君（外国語学部グローバルコミュニケーション学科4年）が中心となり、ボランティアサークル「エン・ウノック」や常葉学園大学の先輩達たちの協力を得て、10名でタスキをつなげました。



▲清水ドリームプラザでスタートの準備をするメンバー



▲第一走者から第二走者への受け渡し・富士山をバックに一枚



▲ 常葉学園大学の皆様 お疲れ様でした。

3月2日(土)午後16時

浜松から届けられたタスキは、三保の松原より
翌日行われる富士常葉大学に繋がれました。

3月3日（日）富士市・富士宮市27キロを頑張ってタスキを繋ぎました。

2日目は、静岡県富士市にある富士常葉大学をスタートし、富士宮市役所や富士宮浅間大社を經由し、岩本山を登り、富士市へと一気下り、富士市役所を經由し、大学をゴールとする27キロを27名のランナーで繋ぎました。

富士常葉大学では、学生だけでなく、富士市・富士宮市在住の市民、OBの参加の住民を27名集めてタスキリレーを行いました。親子で参加した2組を含めて10名もの市民の方に参加を戴きました。

本学サッカー部の学生達も今回の企画に賛同し、上り坂なの難所のタスキを繋ぎ、ランナーが迷わないように先導者として一緒に走ってくれました。



▲スタート前の一枚。学生スタッフ・学生ランナー・参加した地域住民の皆さんと



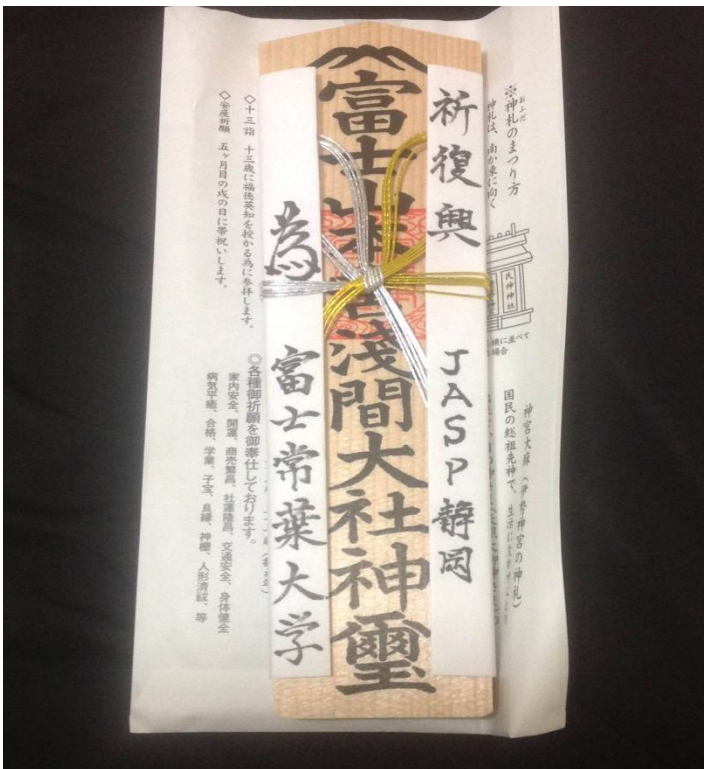
東京から参加した本学OG



▲1 kmのチェックポイント毎に、学生達が常葉大学の旗を持って立ちました。



▲親子でタスキリレーに参加です。(富士宮市役所前)



▲参加者全員で全国の浅間神社の起源にあたる富士宮浅間大社本殿に入り、「東北復興祈願」をおこなった。

上の写真は、この企画に全面的な協力を戴いたサッカー部一同



▲富士宮浅間大社で復興祈願した後、午後の部がスタートした。



▲富士山と富士市をアピールして走る市民ランナー



▲サッカー部先導と学生ランナーの走行写真です。富士山は残念ながら見えません。



▲ ラストランナーのゴールテープは寄書き用の旗を使いました。



26 km 走った後、皆さんの想いを込めて最終ランナーの山田一央君とサッカー部の学生が出迎いの歓声の中でゴールをしました。



学生運営企画ですが地域住民の方々や大学、学生が一つになって達成することができ無事に成功しました。

このタスキは、新潟県に繋がれ、3月11日までに福島県へと渡ります。

御協力いただいた浜松大学・常葉学園大学ならびにお世話になった地域の皆様に感謝申し上げます。

代表の山田一央君は3月9日「寄せ書」と富士宮浅間大社の「御札」を携え、福島に向う予定です。